おのみち 市議会だより

第58号
11月10日発行
令和8(2026)年

発行:尾道市議会　〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号　TEL(0848)38-9371 FAX(0848)38-9339
ホームページ　https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/site/gikai/

尾道市議会　検索



令和8年8月7日　第5回尾道市学生議会

目次　9月定例会・9月臨時会

特集：学生議会 …… 2-3
一般質問 …… 4-11
特別委員会設置・ピックアップ議案 …… 12
議案等に対する賛否一覧 …… 13
常任委員会審査報告 …… 14-15
9月臨時会の概要 …… 15
意見書・編集後記・編集委員・市議会案内… 16

第５回 尾道市学生議会を開催しました!!

23人の大学生・高校生・中学生が市政に対する質問を行いました



令和８年８月７日に、尾道市役所本会議場で第５回尾道市学生議会が開かれました。尾道市議会では、広く学生の皆さんに議会や政治に関心を持っていただくこと、また市政に質問や提案を行うことで地域に関心や愛着を持ち、当事者としてまちづくりに参加する意欲を高め、将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくりに活かしていくことを目的に、令和４年度から模擬議会を開催しています。

当日は、募集により集まった市内在住の23人の学生議員が、市政に対する一般質問を行いました。学生議員の一般質問には、市議会議員がそれぞれ答弁しました。

※学生議会の様子は、尾道市模擬議会YouTubeチャンネルよりご覧ください。

（午前）　（午後）

第５回尾道市学生議会　一般質問項目一覧　（★は学生議長）

質問順	学生議員名	学校名	質問項目
1	魚崎 友里絵	尾道市立大学	①「若者の移住と定住」、そして「今いる住民を大切にするまちづくり」について ②食の安全安心を守り、全世代の豊かな暮らしに繋がる「気軽に農業に関われる環境づくり」について
2	平木 惺菜	尾道北高校	①商店街について
3	大藤 由菜	尾道商業高校	①尾道市の公共交通と新しい移動サービス（MaaＳ）について
4	★小林 由卓	瀬戸田高校	①外国人サイクリストへの交通ルールの啓発について ②向島にある図書館の利用時間の延長について
5	栗橋 大空	御調高校	①御調地域の公共交通機関について
6	島津 風歌	福山大学	①廃校舎の利用について②今後の学校の統廃合の予定について
7	舟橋 叶太	尾道東高校	①尾道市内の渡船と交通網及び道路の安全対策について
8	石田 菜愛子	栗原中学校	①尾道市の若者の選挙離れをなくし、みんなが投票に行きやすくするための工夫について
9	西潟 駿飛	尾道市立大学	①尾道市の魅力を最大化する観光プランの提示と、市民が主体となる地域イベントの活性化について
10	佐藤 瞳衣	因島高校	①サイクリストが安全に、そして滞在したくなるまちづくりについて
11	★中場 慎太朗	尾道高校	①下水道処理について ②尾道市島嶼部の公共交通について
12	木村 望乃	尾道北高校	①尾道市の学習施設について ②観光について
13	★西山 金之介	広島大学	①地域自治会の未来について ②尾道駅前の環境について
14	村上 愛心	尾道高校	①高齢化が進む尾道市において、車に頼らない社会づくりについて
15	渡部 結衣	因島高校	①子どもの第三の居場所づくりについて
16	赤道 凜奏	尾道商業高校	①デジタル技術を活用した未来のまちづくりについて
17	★山本 姫詩	瀬戸田高校	①通学にかかる交通費の補助について②路上での行商について
18	川﨑 奏太	如水館高校	①尾道駅および駅周辺における若者向け施設整備について ②びんご運動公園周辺および流通団地周辺の交通安全について
19	森上 千滉	尾道東高校	①屋外での受動喫煙について
20	中谷 琉唯	御調高校	①尾道市のハザードマップ・防災マップについて
21	川本 雪乃	尾道北高校	①尾道市が観光をさらに発展させるために行っている取り組みと、観光客の増加による課題に対して、市民が安心して暮らせるようどのような工夫をしているかについて
22	下岡 勇悟	尾道市立大学	①「空き家再生による尾道市の発展」について
23	樋口 舜	尾道市立大学	①尾道市のいじめ問題について

一般質問　自らの意見等を述べる学生議員








第５回尾道市学生議会を終えて　学生議員の感想を一部ご紹介します

尾道高等学校1年　中場慎太朗　学生議員



市政に対して思うことを自分の言葉で率直に伝えることができました。緊張もしましたが楽しかったとも思える、大変有意義な経験でした。

尾道商業高等学校２年　赤道凛奏　学生議員



市議会議員さんと話せて、親しみやすい気さくな方が多かったです。自分や学校だけでは気づかないことに気づけた貴重な機会でした。

尾道北高等学校３年　木村望乃　学生議員



準備から本番を通して意見交流もできる中で、島から御調まで、それぞれの地域ならではの話も聞けて、広い視野で考えるようになりました。

広島大学４年　西山金之介　学生議員



大学生になって、尾道を離れた視点から見ることができるようになりました。尾道の未来について当事者意識を持って考え続けていきたいです。

第５回尾道市学生議会 実行委員長　宇根本　茂

学生議会は、学生の皆さんに議会や政治を身近に感じてもらい、市政への関心を高めていただくことを目的に開催しています。学生の皆さんの率直な疑問や意見には、普段、私たち議員が気づきにくい視点もたくさんありました。実際に、学生からの質問をその後の一般質問や委員会で取り上げ、さらに確認する議員の姿も見られました。学生議会は、学生の皆さんにとってだけでなく、私たち議員にとっても多くの気づきや学びを得る貴重な機会となりました。

参加してくださった学生の皆さんには、今回の経験をきっかけに、これからも自分たちの暮らす尾道に関心を持ち続けていただきたいと思います。ご参加いただいた学生の皆さん、本当にありがとうございました。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることができます。



木曜会
土屋（つちや）　咲子（さきこ）

高齢者等に配慮した投票環境の整備

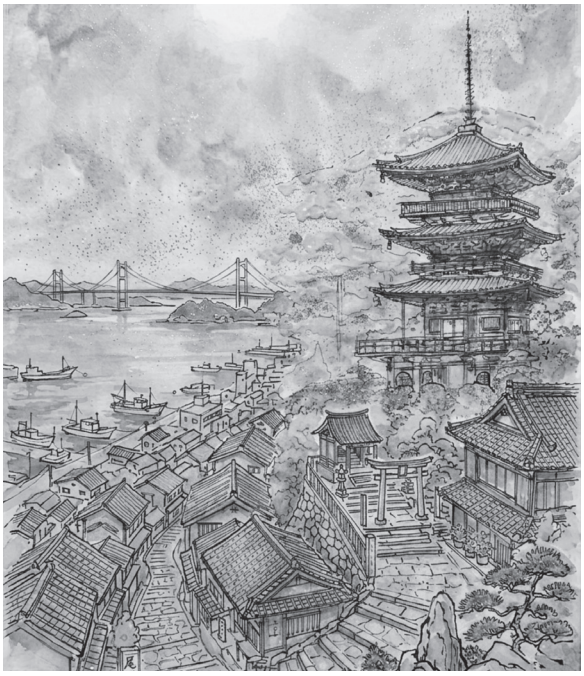
議員　高齢者や身体の不自由な方が、投票所の階段等を理由に大切な一票を諦めることがないよう、投票所のバリアフリー化を求めた。具体例として「尾道漁業組合」投票所は２階にあり、急な階段が高齢者の支障となっている。投票所を利用者の視点から点検し、より安全で利用しやすい施設へ指定場所を見直すべきではないか。

市長　誰もが投票しやすい環境づくりに努め、地域の実情を勘案し移設を検討する。

しまなみ海道通行料金の負担軽減

議員　合併から20年、島嶼部と陸地部を隔てる通行料金の負担を、行政としてどう軽減していくのか。島民にとって生活に直結する通行料金の負担軽減を更に進めるべきではないか。具体的には、島と陸地部の双方向の通学通勤支援、通院や高齢者の外出の支援を提案。財源として、過疎債の活用、一般財源の投入、ふるさと納税に「島の暮らしと移動の確保に関する事業」を設ける等、新たな財源確保について提案した。

市長　島内の学生減少や産業の担い手不足、他の交通機関への影響を考慮する必要がある。過疎債の拡充は難しい。本制度は受益者負担の原則に則り国が対策を講じるものである。





木曜会
中西（なかにし）　海斗（かいと）

人口減少時代、2040年から逆算した都市経営を

議員　2040年には人口約10万人、高齢化率約40％となり、生産年齢人口も大きく減少する。さらに新市民病院の整備やごみ処理施設の更新など、大きな財政負担が重なることも想定される。将来をある程度数値で捉え、中長期的な財政見通しを持ち、今から基金や市債、投資のあり方を考えるべきではないか。

市長　将来の具体的な数値を予測することは難しいが、人口減少や社会保障費、施設更新などの課題は認識しており、持続可能な財政運営に努めていく。

議員　人口減少への危機感は、言葉だけでなく、政策の優先順位やスピードに表れるものだと考える。本市では年間2,000人を超える人口減少が続き、出生数も10年間で大きく減少している。特に、まちの活力を維持する上で中心市街地の人口減少対策は優先度の高い課題である。その中で、旧土堂小学校跡地のような中心部の貴重な空間も、学校移転後、具体的な活用の方向性がいまだ見えていない。人口減少への強い危機感が、政策の優先順位やスピードとして、市政運営に十分反映されていると言えるのか。

市長　人口減少は全国的な課題であり、本市としても危機感を持って各種施策に取り組んでいる。成果が表れるまでには一定の時間を要するものもある。

議員　人口減少が全国的な課題だから仕方がない、で済ませてはならない。成果が出るまで時間がかかるからこそ、後手後手にならないよう先を見て動く必要がある。人口も財源も減ってからでは選択肢がなくなる。2040年から逆算し、今何を決め、何を動かすのかを明確にすべきだ。

また、将来の大型財政需要が控える一方、その財源確保に向けた具体的な道筋は十分に見えていない。だからこそ歳入を増やす力を高める必要がある。ふるさと納税や産業用地の確保、企業誘致などをさらに進め、商人のまち尾道らしく、行政にも「稼ぐ」という意識を持った都市経営へ転換すべきではないか。



木曜会
村上（むらかみ）　隆一（りゅういち）

～酷暑から子どもたちを守ろう!!～

議員　**災害といっても過言ではない暑さの中で、子どもたちは重たいランドセルや荷物を持って登下校している。学校現場でも荷物の軽減に対し、一定の配慮や取組がされているが、保護者や地域で見守りをしている方からは、「重たい荷物を抱えての登下校を見るだけで気の毒だ」「顔を真っ赤にして下校している」といった声を伺う。また、子どもたちからも、「死ぬほど暑いからなんとかしてほしい」という切実な声も聞いている。荷物そのものを激的に軽くすることが困難であれば、早急に「登下校の暑さ対策」が必要だ。そこで「通学用冷却パッド」を尾道市の学校に通う児童へ配布や学校現場への冷凍庫配備も含めた一歩踏み込んだ支援をすべきと考えるがいかがか。**

教育長　配布実施にあたり費用面や運用方法について導入自治体から情報収集していく必要がある。校長会や市PTA連合会と連携しながら検討していく。

議員　**命にかかわることなので早急に対応するように求める。**





木曜会
星野（ほしの）　光男（みつお）

災害時の「しまなみ海道通行止め」

議員　**６月の「通行止め」。市民生活への影響と本市の課題は。**

市長　通勤・通学、医療機関の受信、事業活動等の、人員確保や物資の供給、フェリー乗り場付近での交通混雑等、日常生活や経済活動で多くの影響があった。本市としては、通行止めの情報提供や問合せ対応、帰宅困難者の避難所での受入れについて本四高速（株）との情報共有や総括窓口の明確化に課題があった。

議員　**降雨「しまなみ海道通行止め」、告知から解除までのプロセスは。**

市長　本四高速（株）が収集した気象予測に基づき、連続雨量等の基準に達すると見込まれた時点で、通行止めの可能性の事前告知を行う。その後、実況雨量・気象予測等から通行止め開始時間を決定し、告知すると伺っている。解除は、実況で連続雨量等を下回った段階で、本四高速（株）が点検作業を行い、警察との協議により安全を確認したうえで解除を決定し、解除の告知を行うと伺っている。

議員　**通行止め解除見込みの早期公表はできないか。**

市長　安全確認の工程上、解除時間を事前に見込むことは困難と伺っている。本年度内には、通行止めや災害対応に係る連携体制を確立し、次年度以降も協議の場を設け、災害対応の実効性を担保する訓練等にも取り組みたい。

議員　**長時間の通行止めの救済「エマージェンシーパス」等の導入を本四高速（株）へ提案できないか。**

市長　通行止めが長期化した場合の災害対応車両の通行許可について、適用場面や対象区間・対応車両、通行条件等について、本四高速（株）と具体的な協議を重ねている。島しょ部における医療・介護・公共交通事業の従事者等の搬送や、生活物資の輸送など、緊急性や非代替性を考慮し、個別に判断していただけるよう協議を進めたい。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることができます。



木曜会
大本（おおもと）　和英（かずひで）

本会議において、検討、研究等と答弁した事項に対するその後の経過

議員　**ネーミングライツ事業の実施を研究した結果について伺う。**

市長　名称の持つイメージや本市の施設規模へ導入した場合の財政的メリットなどを勘案した結果、導入するという結論には至っていない。

議員　**企業版ふるさと納税人材派遣型を研究した結果について伺う。**

市長　受入れ側が求める課題解決と、民間事業者が有するノウハウやメリットが合致することで成立するものと認識している。引き続き、民間事業者の専門的知識を取り入れながら、行政サービスの更なる効率化と質の向上に努めていく。

議員　**サル対策について伺う。**

市長　大型の捕獲おりは、令和５年度に木ノ庄町畑と御調町江田に計２基設置しており、令和８年７月末までに計27頭を捕獲している。今年度は捕獲数をさらに増やすため、おりの周辺に点在する柿や栗の木を伐採する事業にも取り組んでいる。また、防護柵購入経費について、補助金を増額している。サルを含む有害鳥獣に対する防護柵の効果的な設置方法等については、相談があれば、広島県鳥獣対策等地域支援機構（通称テゴス）の専任者を派遣する「出前講座」の開催など、地域ぐるみの取組も支援している。

自治会への補助金と負担

議員　**自治会への補助金及び空家等実態調査に自治会の協力をいただくことについて伺う。**

市長　町内会等にとって、新たな負担になるものと捉えており、次回の調査で、空家等実態調査の業務をお願いすることは考えていない。



おのみち会
宮地（みやち）　寛行（ひろゆき）

公共施設の見通しについて

議員　**約50年前の人口が増加している時代にどんどん作った公共施設が建て替えや大規模改修の更新時期を迎え、人口減少が進む現在において、大きな負担となっている。下水道や道路、橋梁などのインフラ系施設の維持は必須だと思うが、ハコモノ系施設の存続の仕分けは必要となってくると考える。本市の市民一人当たりのハコモノ系施設の割合は全国平均や広島県平均よりも比較的高くなっている。30年間で35％減少させるという目標を持っているが、計画を立てて約10年経過した。当時と比べ現在どのくらい減少させることができているか。**

市長　35％目標のうち、令和７年度末までに5.6%の削減となっている。

議員　**３分の１の期間が過ぎて5.6％削減は少ないと感じる。ここからは個別の施設の見通しを聞く。**

尾道市立中央図書館の見通しは。

市長　図書館の移転の考えはなく、適切な維持管理に取り組む。

議員　**みつぎグリーンランドは西日本豪雨災害の影響から８年間実質閉園になっているが、今後の見通しは。**

市長　利用者の減少傾向も顕著だし、施設の再開は難しいと捉えている。

議員　**因島市民会館の見通しは。**

市長　改修や建て替えの計画は持ち合わせていない。

議員　**因島フラワーセンターの見通しは。**

市長　現在の運営体制を維持することは厳しい。

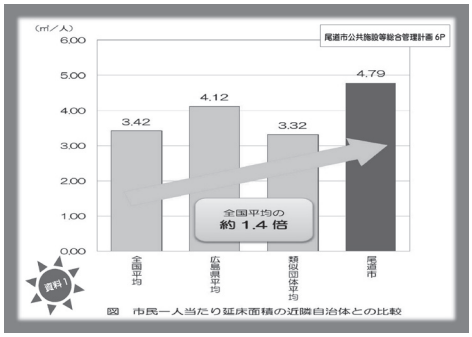


図　市民一人当たり延床面積の近隣自治体との比較



おのみち会
宇根本（うねもと）　茂（しげる）

市民信頼回復のための第三者委員会の設置は本当に必要ないのか

議員　**私があえて、第三者委員会の検証を求めるのは、市長が確信している組織的関与がなかったのであれば、第三者による検証によって、そのことを確認してもらうことで、市民の信頼回復につながり、行政組織として、本当に改善すべきところを見落とさないようにすべきという思いからである。また、この問題を来年の改選後、新体制に引き継ぐものでもないと思うが、いかがお考えか。**

市長　尾道市の内部調査で組織的な関与はないということは、市の調査で十分に確認をした。今回の調査での課題に対し、継続的に全庁を挙げて改善に取り組むことが、市民への最大の謝罪であると考えている。今回、庁舎内での調査の目的は十分に果たされており、外部委員の調査によって結果以上の事実解明を求めることは現実的に困難だと考えている。

人口減少防止の策として、若者の集える場所づくりを考えてはどうか

議員　**若者の転出超過が問題とされている尾道市には、若者が集い、学び、楽しむ場所がどこにもないという若者からの声がある。学校帰りに仲間と集い、楽しんだり、勉強をする場所を、尾道の学生は強く要望している。まずは、公共施設や例えば市役所の各階のロビーや会議室に勉強スペースを設けるなどの場所づくりを考えてどうか。**

市長　若い方や学生の集える場所を望む声があることは、承知している。

居場所づくりについては、家賃や適切な管理者の配置など慎重な判断が必要。まずは、市役所のロビーにおいては机・椅子の増設を検討する。

一般質問を終えて…

若者の流出は、尾道の将来を大きく左右する深刻な課題です。市民一人ひとりが自分たちのまちの未来に関わる問題として捉え、地域全体で向き合うことが重要だと考えます。



おのみち会
巻幡（まきはた）　伸一（しんいち）

少子化対策について

議員　**人口減少によって人口構成や経済コミュニティへの影響はどうなるのか。**

市長　出生数の低下は生産年齢人口の減少やコミュニティの担い手不足により将来の影響が懸念される。

議員　**子育ての経済負担に対して、支援計画はあるのか。**

市長　本市では、「おむつ定期便による育児用品の配布や保育料の第２子以降、無償化、子ども医療費助成、食の支援、子育て世帯中古住宅取得支援」など行っている。

議員　**尾道独自の少子化対策、子育てできる政策に取り組むべきではないのか。**

市長　子ども計画に基づき経済的負担軽減する「子育てしやすい、町だと思う保護者の割合」など調査結果を指標として、本年は「屋内こども広場」の整備をしている。支援を充実し就職や結婚、妊娠など、いろいろ取り組んで環境づくりを推進する。

因島への企業誘致について

議員　**因島地区では人口減少や若年層の流出が続き、若い世代が地元で暮らせる新たな企業誘致を進める必要があるのではないか。**

市長　人口減少を和らげるとともに地場産業の持続的発展や地域の活力を維持するのが重要である。

議員　**企業が進出しやすい、用地やインフラ整備を進め中小企業やサテライトオフィスなどの受け皿が必要ではないか。**

市長　企業立地や既存の事業者が新たにもとめる事業用地の相談にも、市の未利用地や民間の所有地とのマッチングにも努めた。

議員　**企業誘致によって因島の地域効果が生まれ、多数進出できる条件を整えたらどうか。**

市長　因島地域の造船業は国の成長戦略、17項目の１つとして国が支援することで大きな転機を迎えており、若者が活躍できるよう積極的に取り組んでいく。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことです。
氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることができます。



潮風おのみち
村井（むらい）　温子（あつこ）

放課後等デイサービスの支給量と提供体制

議員　**放課後等デイサービスは、こどもの発達や自立を支える重要な社会資源である。**

一方で、こどもや家庭が必要とする利用日数と、実際に利用できる日数に差が生じる場合がある。必要な日数が支給量に適切に反映され、応えられるサービス提供体制が確保されているか、本市の現状と今後の考えを伺う。

市長　医師の診断書、事業所の意見書、調査票をもとに現状を把握し、相談支援専門員の計画案をもとに総合的に判断して支給量を決定する。おおむね対応できている。

議員　**第三期障害児福祉計画の見込みと実績に乖離がある。実態把握が不十分では、本来のニーズを見誤るのでは。**

市長　自立支援協議会等で意見・情報交換をしている。より細かく実態把握できるよう努める。

議員　**ニーズに応じた提供体制を整えられるよう、実態に即した有用な第四期計画にされたい。**

小児科・産婦人科オンライン相談

議員　**島しょ部をはじめ、専門医療機関までの距離や移動負担が地域によって異なる本市では、医療機関の確保と併せ、必要なときに専門職につながる環境を整えることが重要である。**

小児科医や産婦人科医、助産師等にオンラインで相談できる仕組みは、母子保健や女性の健康支援、適正受診、地域医療の補完につながると考え、本市の認識と導入の可能性を伺う。

市長　島しょ部では経済的負担が課題であるため交通費を助成している。こども家庭センターぽかぽかで総合的な支援を実施しているほか、＃8000、ひろしま助産師オンライン相談がある。提案のオンライン相談は現在導入予定はないが、医師会と連携して研究していく。

議員　**近隣自治体でも導入が増えている。相談ニーズを把握し、本市も遅れを取らぬよう、先行自治体をしっかり研究されたい。**



潮風おのみち
石森（いしもり）　啓司（けいし）

出生率の低減化について

議員　**人口減少の一端である出生率の極端な減少問題について、尾道市に住んでいる市民に対しどのように原因と対策を説明するか。**

市長　広島県全体の合計特殊出生率は1.46、本市は1.42となっている。

備後圏域内における他市の状況では、福山市1.60、三原市1.40、府中市1.31、竹原市1.36となっている。

災害時の避難所の備蓄品について

議員　**最近、全国で大きな地震や広域での水災害などが続出している。**

尾道市においては、それぞれの地区における避難所の割り振りは、人数に関係なく大まかにはできていると思う。

いざというとき、誰もがどこに避難すればよいのか、家族を含めてそれぞれが確実に認識することが大切と考えるがいかがか。

また、そこへ避難しても段ボールベッド、飲料水、食品、医療品などはまったく配置していないところもあるようである。

いつ来るか分からない東南海地震や災害だからこそ常時配置すべきと考えるがいかがか。

市長　災害の状況に応じて開設する避難所は異なり、発生時の所在等は予測困難であるため、個人の避難所は確定させず、自宅周辺の避難所のほか、市内全域の避難所について周知している。

避難所の備蓄品については、発災直後から速やかに提供できるよう、人口、被害想定、保管場所、橋の通行止め等を考慮し、地域の備蓄拠点や災害時に早期に開設する避難場所に配備するとともに、開設避難所で不足が生じる場合には、近隣の備蓄拠点から搬送することとしている。



潮風おのみち
冠（かむり）　匡晃（まさてる）

男女共同参画の見直しと、母親による育児の尊重

議員　本当は自分の手で子どもを育てたいのに、生活のために最低賃金に近い賃金で働き、心にも時間にも余裕のない母親が多くいる。一方で保育施設には児童１人当たり年約157万円の公費が使われている。これを保育施設ではなく母親に直接給付すれば働く必要がなくなり、自分の手で子育てが可能になるのではないか。

滋賀県高島市では、家庭で育てる１・２歳児に月３万円を給付している。尾道市でも一般会計の約0.16％で実施できる。家庭育児を大切な仕事として評価し、対価として払ってはどうか。

市長　現在、給付制度を創設する考えはない。

議員　大人の都合だけでなく、赤ちゃんは誰に育てられるのが幸せなのか、忘れてはいけない。

尾道市の甚大な副作用被害とその責任

議員　「コロナワクチン接種後に妻を亡くし、市や医師に訴えても取り合ってもらえず、夜になると涙が出る」と市民から相談を受けた。同様の相談や見聞きした件数は数えきれない。市内の副反応疑い報告は31人、うち死亡６人だが、実際は被害者のほとんどが疑い報告すらされず、保障制度も知らない。

当時のワクチンの添付文書には小児の臨床試験は未実施で、妊婦・授乳婦の安全性は確認されていないと明記されていた。厚生労働省のデータでも、ワクチン接種者の方がコロナにかかり、多く亡くなっている。つまり、効かない上に害でしかなかった。

一方でコロナ感染症による死者の中央値は86歳、つまり若者には死亡・重症化リスクがほとんどないにも関わらず、これを自ら妊婦、若者、こどもにまで接種を呼びかけた市長は、被害者をサポートし、謝罪と反省をすべきではないか。

市長　謝罪や反省は特に考えていない。



市民連合
松原（まつばら）　正侍（せいじ）

「維持管理行政への転換」について

議員　これからの自治体運営は「新しいものを造る行政」から「今ある公共施設やインフラを長く使い続ける行政」へと展開する必要があると考える。維持管理を重視した行政運営についてどのようなお考えをお持ちか。

市長　施設の必要性や利用状況を踏まえ、将来にわたり必要な施設を見極めながら、長く有効に活用していくことも市政運営の重要な視点とし、有利な財源を活用しながら、予算編成に取り組んでいきたい。

手話リンクについて

議員　「手話リンク」とは法律に基づいた公共インフラとして、聴覚障害者等の電話利用の円滑化のため、総務大臣の指定機関（一般財団法人日本財団電話リレーサービス）による電話リレーサービスの一部の機能を利用し、法人向けのサービスとして開始されているものである。

「手話リンクサービス」について調査や研究をしたことがあるか。

市長　これまで調査・研究したことはないが、他自治体においても導入が進み始めていると認識しており、全長的に情報共有を図りながら研究していきたい。

市内公設トイレ（車いす使用者や多機能トイレ）について

議員　特に大型ベッドは、障がい者のおむつ交換や排泄介助、着替え等に必要な設備である。本市では大型ベッドの設置をどのように位置付けているか。

市長　大型ベッドについては、高齢化の進展と障がい者の社会参加推進に伴い、必要性が増してくるものと認識している。今後施設整備において、設置を検討していきたい。

一般質問を終えて…

その他、「JR尾道駅前の整備について」「尾道市内の造船業の活性化について」「障がい者福祉サービスの支給量について」について質問しました。

一般質問とは、議員が、定例会において、行政全般にわたり、市の事務の執行状況や将来の方針について執行機関（市長など）に質すことです。氏名横の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取っていただくと各議員の実際の本会議での質問動画を見ることができます。



公明党
村上（むらかみ）　久美（くみ）

オストメイトの日常生活用具給付基準

議員　**ストーマ装具の価格上昇を踏まえ、現在の給付基準額が実勢価格に見合っているか。また、定期的な実態調査と基準額の見直しを行うべきではないか。**

市長　令和６年度以降、価格は約5.6％上昇している。自己負担が多い状況も認識しており、購入価格や自己負担、利用者の声を確認し、基準額の見直しを検討する。交換回数を減らす利用者についても、今後、申請時に使用状況を確認する。

災害時の人的受援体制

議員　**大規模災害に備え、必要職員数や応援要請の基準、受入れ体制を明確にし、訓練結果を計画に反映すべきではないか。**

市長　令和４年３月に受援計画を策定し、令和７年３月に改定。30業務を対象とし、不足人員は発災後に算定して応援を要請する。受援班を設置し、訓練を実施している。今後も訓練や派遣職員の意見を踏まえ、必要に応じて見直す。

防災

議員　**避難行動率向上、新しい防災気象情報の周知、女性防災リーダーの育成、子ども主体の防災教育をどう進めるか。**

市長　広報紙やホームページ、出前講座、訓練等で防災情報を周知し、避難所開設は防災ラジオ、アプリ、公式LINE等で伝達する。女性リーダーの登録制度やネットワークづくりを調査・研究し、子ども向けには体験型の防災学習を充実させる。

一般質問を終えて…

オストメイトの給付基準額引き上げに向け、尾道総合病院で実態調査を実施。病院・認定看護師から市へ要望書も提出し、利用者の声を市政に届け、支援の充実を求めました。



公明党
岡村（おかむら）　隆（たかし）

避難所の備蓄・環境整備

議員　**避難所の備蓄と今後の整備状況は。**

市長　テント424セットなどを備蓄し、自動ラップ式簡易トイレ導入も検討中。

身寄りのない高齢者等への支援

議員　**身寄りのない高齢者等の支援体制は。**

市長　民生委員・児童委員が相談しやすい環境づくりに努めている。

映画館を活かしたまちづくり



議員　**シネマ尾道の活用は。**

市長　映画文化の普及や地域活性化に貢献する施設と認識しており、関係団体等と連携した取組を進める。

公民館の計画的な整備

議員　**公民館整備の留意点は。**

教育長　耐震性、建築年数、利用状況等を考慮して計画的に整備する。日比崎公民館についても課題を認識し、必要な修繕等を行う。

子どもを受動喫煙から守るまちづくり

議員　**条例制定を進めてはどうか。**

市長　保健所と連携し、周知・啓発を図る。

関係人口創出につながる観光施策

議員　**農漁業を活かした体験・交流型観光は。**

市長　尾道観光協会や民間事業者と農業・漁業関係者との連携を支援し進める。

一般質問を終えて…

唯一の映画館「シネマ尾道」を、「映画のまち尾道」の文化・観光・地域活性化まちづくりの拠点に



日本共産党
岡野（おかの）　長寿（ながとし）

官製談合事件、市民の信頼回復に、第三者委員会の設置は不可欠

議員　**市と業者の癒着では。この市民の疑念をはらすためには、当事者がいくら潔白を主張してもダメ。第三者の調査が不可欠ではないか。**

市長　設置しない。

橋代支援は高速道路の受益者負担の問題ではない

議員　**市民が日常の生活道路として利用する負担を軽減する問題だということがわかっていない。**

市長　既存事業（個別福祉施策としての橋代補助）の利用促進をはかりながら、必要な取組を検討する。

因島フラワーセンター

議員　**９月議会での閉鎖議案提出は撤回されたが、あまりに拙速、市民に謝罪が必要ではないか。因島の重要施設であり、除虫菊の里として輝かせる方法もある。**

市長　時間をかけて協議する。

中学校も給食無償に

議員　**沖縄県では県が半分支援して市町村の無償化を実現している。県に要望活動をすべきではないか。**

教育長　無償化は国の責務。全国市長会等を通じて国への要望活動を継続する。

国民健康保険料はなぜ値上げに

議員　**一人あたりの値上げ分2,741円は子育て支援分。医療保険で子育て予算を徴収するのは筋違い。国に抗議し、いわれなき負担増を補填せよ。**

市長　国に、制度の意義や目的についてわかりやすい広報等を行うよう要望する。



無所属
藤本（ふじもと）　友行（ともゆき）

20年間の悪循環の責任

議員　**20年間で出生数は、1,064人から450人と全国平均670人より220人少ない責任は。**

市長　日本全体で出生数が減少している。

議員　**尾道市民の転出超過人数も全国1,741市町の中で1,684位とワースト57位でワースト３％に押し下げた責任は。**

市長　転出が多い傾向にある。

毎年教員未配置が続く

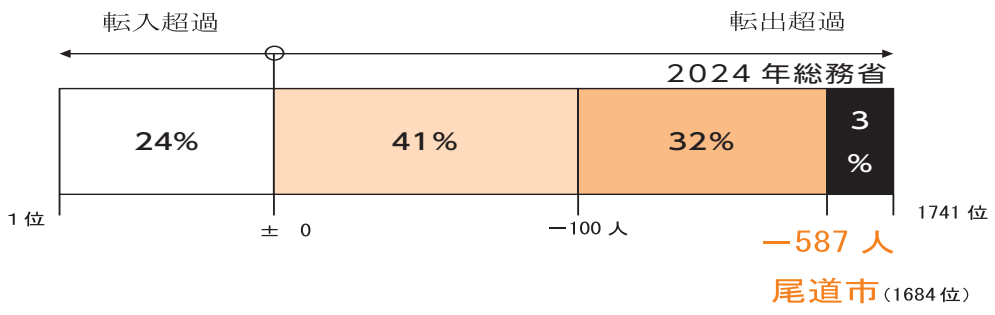
議員　**不登校の割合も毎年全国ワーストのトップクラスにある責任は。**

教育長　不登校児童生徒数の増減のみに着目していない。

議員　**20年間で尾道市民の転出超過人数±０人から－587人と41%+32%=73%も押し下げた責任は。**
私が提出した総務省の表を見てお答えください。

市長　悪いデータだけを示すのはおかしい。

議員　**悪いデータしかないのでは。このままでいいのですか。**



決算特別委員会が設置されました

令和８年９月定例会は、８月31日から９月15日までの16日間にわたり開会いたしました。

８月31日の本会議で決算特別委員会が設置され、同日開催された決算特別委員会において正副委員長が互選されました。これにより、決算特別委員会は議長及び議員選出監査委員を除く次のような体制となりました。

委員長：宇根本　茂　　副委員長：村井　温子

松原　正侍	檀上　政樹	土屋　咲子	中西　海斗
冠　　匡晃	魚谷　　悟	岡野　長寿	山根　基嗣
村上　隆一	大本　和英	岡村　　隆	村上　久美
前田　孝人	石森　啓司	新地　貴史	星野　光男
髙本　訓司	二宮　　仁	吉和　　宏	佐藤　志行
宮地　寛行	巻幡　伸一	新田　賢慈	藤本　友行

ピックアップ議案 ―この議案ってどんなこと？？―

議案第128号　令和8年度尾道市一般会計補正予算（第3号）主なもの

- 地域介護・福祉空間整備事業 …… 602万円
- 排水路維持補修費 …… 1,149万円

※1万円未満切捨

議案第134号　尾道市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

尾道市立市民病院及び公立みつぎ総合病院の許可病床数を変更するための条例改正です。

議案第136号　尾道市特別職職員給与に関する条例の一部を改正する条例案

官製談合の再発防止に取り組んでいる中、前尾道市上下水道事業管理者が不祥事を起こしたことに対する市長及び副市長の責任として、それぞれの給料月額を減額するための条例改正です。

議案等に対する賛否一覧

○：賛成、×：反対、議：議長（議長は採決に加わりません。）

議案番号	件名	議決結果	松原正侍	檀上政樹	土屋咲子	中西海斗	冠匡晃	村井温子	魚谷悟	岡野長寿	岡田広美	山根基嗣	二宮仁	大本和英	岡村隆	村上久美	福原謙二	前田孝人	石森啓司	宇根本茂	新地貴史	吉和宏	佐藤志行	星野光男	村上隆一	宮地寛行	高本訓司	巻幡伸一	新田賢慈	藤本友行
報告第27号	専決処分報告及びこれが承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第137号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を聞くことについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第128号	令和８年度尾道市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第129号	令和８年度尾道市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第130号	令和８年度尾道市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第131号	市道路線の廃止について（江處２号線）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第132号	尾道市特殊勤務手当条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第133号	消防特殊勤務手当条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第134号	尾道市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第135号	尾道市議会議員及び尾道市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第136号	尾道市特別職職員給与に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願	市が直ちに第三者委員会を設置するよう求める請願	不採択	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
建第７号議案	尾道市議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
建第８号議案	専決事項の指定についての一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
建第９号議案	尾道市議会議員定数条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
建第６号議案	「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務経済委員会

付託議案 議案第128号・議案第131号～議案第133号・議案第135号～議案第136号・請願

総務経済委員会委員長：石森　啓司

問　総務費における総務管理費、一般管理費の積立金について、地方交付税が約１億９千万円減額している中で、減債基金積立金に２億７千万円を積んでいる理由は。

答　地方交付税の減額については、予算見込みとの差異が出たことによるものである。減債基金積立金については、国から臨時財政対策債償還基金費を４億円程度積むように指示があり、もともと積立ていた１億３千万円との差額２億７千万円を積み増しするものである。

問　災害復旧費における公共土木施設災害復旧費、現年単独災害復旧費と現年補助災害復旧費の工事請負費それぞれの内容は。

答　現年単独災害復旧費は国庫負担の対象とならない公共土木施設道路や河川の復旧に要するものであり、道路１路線、河川３河川の合計４カ所で900万円、残額で里道などの修繕を行い、現年補助災害復旧費は国庫負担を受けて、道路９路線の復旧工事を行う予定である。

【議案以外の委員会所管事務に関する質疑】

・地方自治法第150条を踏まえた尾道市の内部統制体制、常設の第三者機関の設置及び現状、日野市コンプライアンス委員会設置の見解、尾道市がコンプライアンス委員会を設置する整備時期
・百島への燃料輸送便の確保及び供給体制、燃料供給問題の協議体制等
・屋内運動場空調整備時期の前倒しに対する認識及び整備計画の見直し等
・尾道映画祭の事業位置づけ及び期待する成果、シネマ尾道が果たしてきた役割や貢献度　等
・耕作放棄地を減少させる具体的施策、次世代につなげていく農業施策等
・情報公開制度の整理や根拠法、文書公開の根拠法など明確な基準に基づいた運用　など

委員会審査の様子はこちら

《審査結果》

付託を受けた６議案は、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

福祉環境委員会

付託議案 議案第128号～議案第130号・議案第134号

福祉環境委員会委員長：星野　光男

問　生活保護費の追加支給分として計上された生活扶助費の概要は。

答　平成25年に改訂された生活扶助基準について、令和７年６月の最高裁判決を踏まえ、当時と新たな基準による保護費との差額相当分を追加給付するものである。

問　社会福祉費における尾道市総合福祉センターに対する修繕料の補正内容は。

答　当初予算で計上していた修繕のほか、緊急に修繕が必要となった不足分を計上したものである。

問　議案第134号尾道市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案における許可病床数削減の算定根拠は。

答　人口や患者動向、病床の利用状況などを総合的に勘案した上で、現在の医療需要に見合った病床規模とするものである。また、昨年度において、市民病院では１日の入院患者数が230人を超えた実績がないことが算定根拠である。

【議案以外の委員会所管事務に関する質疑】

・認知症高齢者グループホームの改修工事に対する国の地域介護福祉空間整備等施設整備交付金の補助率
・近年の物価高騰など社会情勢を踏まえたオストメイトの給付基準額の見直し
・健康被害救済制度に関する周知方法の検討
・ろうあ協会と連携した手話言語条例・手話に関するパンフレットの内容と発行スケジュール
・子育て支援アプリ「おのはぐby母子モ」を活用した搾乳可能施設の普及促進
・向島支所の空調設備の改善
・障害者優待乗車証の利用可能エリアの検討並びに地域による利用可否の是正
・高齢者の補聴器購入に係る助成制度の創設に向けた検討　など

委員会審査の様子はこちら

《審査結果》

付託を受けた４議案は、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

教育スポーツ委員会

付託議案　議案第128号

教育スポーツ委員会委員長：村上　隆一

問　教育総務費のフリースクール利用者負担軽減給付金について、その制度設計の概要は。

答　新たに創設する尾道市フリースクール利用者負担軽減給付金交付要綱は、その趣旨として、不登校児童・生徒が学校以外の場で教育を受けることができる機会を確保することにより、継続した学習環境の提供等を行い、社会的自立を支援することを目的として、不登校児童生徒の保護者にフリースクール利用者負担軽減給付金を交付するものである。給付対象施設は、尾道市内にあるフリースクールであって教育委員会在籍学校及び当該施設との事前連携により、学校長が指導要録上の出席扱いとなると判断した施設としている。

問　現在フリースクールに通っている児童生徒数及びその推移と傾向は。

答　現在フリースクールに通っている児童生徒は16人ととらえている。令和6年度では27人、昨年度は14人、今年度の状況はまだ確実には把握していないが、増加傾向にあるとは認識していない。

【議案以外の委員会所管事務に関する質疑】

・尾道市が不登校の割合が突出して高いことに対する危機意識の欠如理由等
・学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（通称：こども性暴力防止法）の目的等
・屋内運動場の空調整備の予定と前倒しの可能性、特別教室の空調整備の割合と整備状況
・学校の在り方検討委員会の答申と児童生徒の減少に伴う学校統廃合の方向性
・中学校給食無償化における県内での尾道市の順位、中学校給食無償化のための県への支援要請
・スクールソーシャルワーカーの市と県における任用期間の違いと県に対する改善要望の検討
・部活動の地域展開をせずに部活動を継続する自治体の存在の把握とその自治体を参考とした尾道市における再考の可能性
・学校の避難訓練の実施状況、抜き打ち避難訓練の導入と訓練の効果の検証　など

委員会審査の様子はこちら

《審査結果》

付託を受けた議案は、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

９月臨時会の概要と今後の予定

令和８年９月臨時会は９月29日に招集され、会期を1日として審議に入りました。

市長から１件の報告があり、令和７年度尾道市一般会計等の決算認定９議案が提出されました。

令和７年度尾道市一般会計等の決算認定９議案については決算特別委員会に審査を付託し、本会議休憩中に開会した決算特別委員会において議会閉会中の継続審査の申し出をすることに決定しました。

再開された本会議では、決算特別委員会から申し出のあった議会閉会中の継続審査についても可決しました。

議会閉会中の継続審査となった決算認定議案は、同じく決算特別委員会に付託されて議会閉会中の継続審査となっている企業会計の決算認定３議案と合わせて、10月14日から16日の3日間にわたり開会した決算特別委員会で審査を行いました。

審査の結果は12月定例会において報告し審議されますので、詳細は令和９年２月10日発行予定の議会だよりに掲載します。

意　見　書

※意見書は市の公益に関することについて、議会としての意思を意見としてまとめた文書で、国会や関係行政庁に提出します。９月定例会では次の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書（要約）

本年７月に「防災庁設置法」が成立し、平時の備えから発災時の対応、復旧・復興までを一貫して担う司令塔組織として「防災庁」の発足が目前に迫っています。

一方で、本年７月28日に発生した「令和８年熊本地震」では、猛暑期における大震災であったことから、停電や断水が続く中での避難生活や車中泊・在宅避難に伴う熱中症、脱水症状、エコノミークラス症候群などの健康リスク急増、衛生的なトイレの不足、ガソリン等燃油の供給制限、さらには自治体職員自らの被災によるマンパワー不足など、激甚化・複雑化する災害現場の課題が顕著となっています。

今後想定される巨大地震や気象災害のリスクに対し、新たに発足する「防災庁」が現場のニーズに即した司令塔機能を最大限に発揮し、災害関連死や二次災害を防ぎ、国民の命と暮らしを守り抜くためには、国と地方自治体との連携強化及び支援体制の抜本的刷新が不可欠です。

よって、政府におかれましては、防災庁の発足を機に、最新の災害教訓を踏まえた実効性ある「猛暑期の避難生活における衛生環境の改善とトイレ対策」を含む５項目の措置を速やかに講じるよう強く要望します。

尾道市議会では、令和８年熊本地震の発生による被災地における早期の復旧・復興を支援するため、九州市議会議長会を通じて義援金28万円（議員一人当たり1万円）を送金いたしました。

市議会からのご案内

12月定例会の日程

11月17日	議会運営委員会	10：00
11月30日	本会議（開会）	13：30
12月　2日	本会議（一般質問）	10：00
12月　3日	本会議（一般質問）	10：00
12月　4日	本会議（一般質問）	10：00
12月　8日	総務経済委員会	13：00
12月　9日	福祉環境委員会	13：00
12月10日	教育スポーツ委員会	13：00
12月15日	本会議（閉会）	13：30

※12月定例会の日程は11月17日の議会運営委員会で正式に決定しますので、変更の可能性があります。

※傍聴を希望される方は議会事務局までお越しください。座席は先着順です。

★「市議会」や「おのみち市議会だより」に対するご意見、ご感想をお寄せください。お寄せいただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。

編集後記

今号の表紙を飾るのは、８月に開催された「第５回尾道市学生議会」において、市政全般にわたり、学生ならではの視点で本市の魅力的なまちづくりに向けて質問・提案された、「学生議員」の皆さんです。

質問の中には、９月議会の一般質問に取り上げられたテーマもあり、皆さんの市政への熱い思い、関心の高さを知ることができました。

特集に質問要旨を掲載しておりますのでご一読ください。

学生議員の皆さんには、若者ならではの視点を忘れることなく、将来社会に出られてもご活躍されることを期待します。

■議会だより編集委員会委員

委 員 長：檀上　政樹
副委員長：二宮　　仁
土屋　咲子　　岡野　長寿　　村上　久美
石森　啓司　　新地　貴史

■お問い合わせ先

尾道市議会事務局
〒722-8501　尾道市久保一丁目15番1号
TEL 0848−38−9371　FAX 0848−38−9339

次号は令和９年２月10日発行予定です。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。